



JAPAN MONKEY CENTRE

送信先 報道各位

送信枚数 本紙を含めて 2枚

送信日 2022年 10月 13日

10/17(月)動物慰霊祭を執りおこないます

例年、創立記念日に今まで日本モンキーセンターで亡くなった動物たちに感謝の意を表し、動物慰霊祭を執りおこなっております。今年は、今年1年間で亡くなった22種36頭の霊長類を含む、累計6,777頭の動物を供養します(2022年10月10日現在)。

今年、日本モンキーセンターは66回目の創立記念日を迎えます。この慰霊祭では、飼育担当者はもちろん、学術部や事務部のスタッフも全員が順次参列し、手づくりで心のこもった進行を計画しています。一般のみなさまも「お供えもの」(リンゴ、ミカン、柿、ブドウ、パイナップルなど果物類、サツマイモ、葉物、根菜類、栗やドングリなどの堅果、動物用の遊具や採食装置※市販の新品のみ、樹木の苗木など)を持ってご参列いただけます。お供えものは後日、飼育している動物たちのために役立てます。お供えものは当日直接ご持参いただくほか、10月15(土)から慰霊祭の当日の10月17(月)12時まで事前受け付け(宅配を含む)もおこなっております。

動物慰霊祭には、親善大使の竹下景子様も参列予定です。貴メディアにてご紹介いただければ幸いです。

創立66周年・動物慰霊祭 概要

日時 : 2022年10月17日(月)13時00分~(雨天決行)

場所 : ビジターセンター左手奥 動物慰霊碑(猿塚)前

進行 : 附属動物園部長 綿貫 宏史朗

プログラム

- ・開祭挨拶 伊谷 原一(日本モンキーセンター 所長)
- ・挨拶 竹下 景子(親善大使)
- ・動物たちへ感謝のことば 土性亮賀(飼育員)

13時15分~ 献果

13時30分頃 終了

資料：この1年で亡くなった霊長類（一部）

写真：リスザルの島 ボリビアリスザル ミカン（♀） 2022年4月2日（永眠）



1996年9月10日に、沖縄石垣島の八重山研究所からモンキーセンターにやってきました。生年月日が不明で、推定で30歳。見た目からのご長寿を感じさせる風貌で、みんなから愛される個体でした。ミルワーム（幼虫）が大好きで、若者に負けじと食べていました。

◆感謝のことば読み手：土性亮賀（どしょう あきのり）

入社6年目、飼育員27才。KIDSZOO、リスザルの島、南米館（マーモセット、タマリン、オマキザル等）、アフリカ館（コロブス、グエノン等）の担当を経験し、現在はくすのきの森・リスザルの島・南米館を担当している。リスザルの島でミカンの最期を看取った。

※今年も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、皆様にマスクの着用、手のアルコール消毒をお願い致します。参列の際は、ソーシャルディスタンスに注意し、密にならないように慰霊祭を執りおこないます。ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

お問い合わせ先

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26

TEL：0568-61-2327 FAX：0568-62-6823 メール：info@j-monkey.jp

担当：坂口、赤見、江藤、安倍

※その他の イベント情報などは、過去のプレスリリース原稿、

または Web サイトにてご確認ください。 <https://www.j-monkey.jp/event/>